







# 浦鹽の新韓村

安重根の弟も居る

何處で話しかけアラン節

浦鹽の新韓村は、安重根の弟も居る。何處で話しかけアラン節。浦鹽の新韓村は、安重根の弟も居る。何處で話しかけアラン節。

# 三木少尉の戦話

敵は佛軍又はチエック軍に思つて襲撃して来たのだ

三木少尉の戦話は、敵は佛軍又はチエック軍に思つて襲撃して来たのだ。三木少尉の戦話は、敵は佛軍又はチエック軍に思つて襲撃して来たのだ。

# 山陰線始ご全滅

城崎掛屋間全然不通

山陰線始ご全滅。城崎掛屋間全然不通。山陰線始ご全滅。城崎掛屋間全然不通。

# 雲空を破る萬歳の聲

十八日朝の龍山驛頭

雲空を破る萬歳の聲。十八日朝の龍山驛頭。雲空を破る萬歳の聲。十八日朝の龍山驛頭。

# 大氣球の暴風

暴風の爲め

大氣球の暴風。暴風の爲め。大氣球の暴風。暴風の爲め。

大氣球の暴風。暴風の爲め。大氣球の暴風。暴風の爲め。

山陰線始ご全滅。城崎掛屋間全然不通。山陰線始ご全滅。城崎掛屋間全然不通。

雲空を破る萬歳の聲。十八日朝の龍山驛頭。雲空を破る萬歳の聲。十八日朝の龍山驛頭。

大氣球の暴風。暴風の爲め。大氣球の暴風。暴風の爲め。

山陰線始ご全滅。城崎掛屋間全然不通。山陰線始ご全滅。城崎掛屋間全然不通。

雲空を破る萬歳の聲。十八日朝の龍山驛頭。雲空を破る萬歳の聲。十八日朝の龍山驛頭。

胃腸病科 石川醫院

高氣品の馨

爽快なる 元氣は 此一粒から

衛生 金定

爽快なる 元氣は 此一粒から

安藤井簡堂

小児科 花柳病

院長 千葉 醫學士 松崎正彦

列車一時不通

仁川米豆取引

天



[illegible][illegible][illegible][illegible]

醫學士 二宮亮吉

[illegible]

**美乳**

初めて  
出来た

電話 東京市豊島区西下町  
一丁目五番五号  
支店 東京市豊島区西下町  
一丁目十八番五号  
本店

田畑 一山林

さばは全く別人のやうな白色美人になつたにつけても、嫌うし  
た白色頬を未だ知らない方に一滴墜てて運けたらこいふ  
へが心の底から湧きすには居られませんが——これは実乳

多木製肥所

本舖 大塚白粉店 矢野 岩倉











羅馬法王廳に報告

△米講和拒絶

講和提議書米政府に到達

英外相バルフォア氏の言明

に足らず又聯合國間に於ても

聯合國は斷然應ぜざるべし

軍の攻勢を完全に喰ひ止め

◆米軍謝意を表す

上原總長の祝電に對し米軍

密接ならしむるものある可し

◇過激派將に瓦解

レニシ、トロツキ―逃亡準備

は、此處主和派を代表する

呂氏の総裁選に就きては南方も強て反對の意圖無き事明

意思疏通と特使

氏は此際南方に有力なる特使を派し時局の疏通を期する可しとの議を致し目下

◇總當選證書贈呈  
六日参事兩院議長は徐氏に當選證書を贈呈せり（北京特電）

東軍廈門占領

# ◆東清線管理抗議

二就き各國との間に、  
 通商方を協議中の由な

◆**時國庫證**  
發行内容

午前十時より  
開會  
山月博士の報告は、國幣局  
を發行し日本銀行をして即日

金厨アルミニウム鋼製品  
彈藥△藥炭△亞麻△化學用レン  
ズ△鉛管△鉛板  
○邦文是認  
人海關長探  
商社聯合會披露

輸通告  
全鮮商業會議所聯合會への

カラスノツチゴロ  
カラスノツチゴロ  
カラスノツチゴロ

税關に於る輸出申告書には  
 三國通關工△南部第五工區土工其  
 新設工事金額を以て五層通關工△  
 渡野上三區渡野渡成或上其地也

工事全體を通じて一厘三毛兩錢工

ないて唯一の障害と語ふべく勿  
根本的改定に關しては自から  
方法ありと雖も事第三國に關係  
工事全體を通じて九分五厘竣工  
本館停車場外社宅及倉庫その他建  
物を通じて二分五厘竣工工部止停  
工部止停工事其他建築工事人員止停

事務取扱の  
▲京義線

朝鮮側より提出する

京城提出の安  
の取引しつ、あるタイナマイ

し置きたるも未だ其の目的を達せざるを以て下院會議所聯合會の職を以て更に其の

に付ダイナマイト供給上には

月未現在に於ける朝鮮鐵道各線  
 工事竣工額左の如し

女學校に於て講會を能すべ  
 阻は社告の如く我野博士は『

より親たる朝鮮用中博士は『

役の發端に就て「なるが兩博  
世人の田中我中興早の

まねを見て、國者朱居る。日午九時、町奉行に報告せしむ。

[illegible]

**眞物問屋**

大坂市南區新成橋筋電車  
森内商店  
三〇三七振替大阪三四〇二

**時は今**

観劇の好手  
甲賀三郎  
殺活  
爆弾ピアノ  
依與ノ婦士實演  
お銀  
お節  
お茶  
お梅  
お菊  
お喜  
お八  
お七  
お六  
お五  
お四  
お三  
お二  
お一

朝鮮總督府

五百石 京城監獄  
購買入札  
詳ハ大正七年九月十九  
日朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

十九日賣金富



十四日迄に約二百萬圓

下長春に貨車集中なるは、該部部長の  
爲に、進出をせしむるに、我々〇〇は  
目下長春に在りて死なざるを要す當時  
に於ける如く状態を、早急に見られ  
し、向右の影響にて物資集中の途途  
爲に諸物價は益々騰貴し居れり

（盧東電報）

（附）此に於ける方法と吾人國土に於  
ける製造するものとを、國土に於ける

鐵道罷業は漸く解決を告

下長春に貨車集中なるは、該部部長の  
爲に、進出をせしむるに、我々〇〇は  
目下長春に在りて死なざるを要す當時  
に於ける如く状態を、早急に見られ  
し、向右の影響にて物資集中の途途  
爲に諸物價は益々騰貴し居れり

（盧東電報）

（附）此に於ける方法と吾人國土に於  
ける製造するものとを、國土に於ける

出征勇士から愛國婦人會へ

を以て此の金額は動員支令後出仕  
部顧問司出資費用に用ゐるに留り  
び留守する動員費に於ける動員に  
したる總の費用の合計なるが内  
動員合計に要するも當部團の

△經常費日 一箇月二十  
圓以上を要する、約三百圓の  
經費を要したる時、此の經費  
が繰越たる動員費用と見做さるべ  
きもの也。但し、能率馬場御役所  
にて轉帳数は「説明」宛めにも動員  
兵數(二名)の間の間にせらるべく一頭  
二百圓平均にして三騎へき日額

愛蘭婦人會朝本部にては第  
一團長以下各部長官在任中  
師の顧問を爲し居り目下は軍  
需のため一時中止し居れるが  
武裝愛蘭婦人會役員連の訪  
び出張何れも感謝の意を表し居  
るが出征せるものは行旅中に難し  
し来る者多く油斷運道第十  
一團東歸の際に懇請して出征中な  
る左記の如く感謝状を寄せ來り  
りいふ然して同本部にては

に於ける熱誠な歡迎選が  
軍人に深き感銘を與へ

[illegible]

二十餘名は十七日特に拜謁仰せ付け

[illegible]

氣に召さる

[illegible]

〇〇〇〇〇〇長は十八日午後一時停車場

皇に滞在在中の諸兵を集め嚴肅なる觀兵  
 舉行せり尙此舉を參列す可く○○○○○  
 朝來辰し午前十一時を歡迎の官民を招待して午餐  
 を備せり茲參拜を

○遺飛ひ  
 飛行將校の光榮  
 特に拜謁仰付けらる

伊太利國飛行將校二十餘名は十七日特に拜謁仰付け  
 賢所參拜を許されたり(飛電)

ぜん、ち  
 口戰地より(三)  
 金谷從軍記者  
 お前へ目す。我等の陣地はるか  
 やれい。また我等としくく  
 格になり笑しい。く。く。く。

豹ヒョウ 貅ヒョウ 續ツグ 々々 龍リウ 山サン 驛エキ 通ツウ 過カ

第三師團○○○○○第○○○  
○隊第○大隊は十月午後三  
時四十六分に出陣し、四時十二  
分北行せり。同○長○○少佐以  
下○○名は判り、同時に軍司令  
部第十九師團附隊よりの出迎へ  
著その他一般市民の歓迎を受けし  
げんしゆく  
観兵式  
下車休息所にて休息、要  
員將隊婦人會員高女同窓生  
擁ぐの湯茶花束絶賛書を受  
け、茶を喫して休養時、同  
刻到着の際と同隊、歓迎を受  
け萬壽野に北上の途に駆けり

倒たふさここ才さい  
貨たふさ死し二に台たい

三、海關總稅務司官の北清總領事に際し、各  
 種の貨物に關する稅關手續を簡便にして歡迎意をな  
 げ、旅費は云ふも更なる官民界つて  
 貨物に應ずるなき出來得る限りの  
 好意を表し、つつあり然るに如何な  
 る行爲を平たふべきか一二の市民  
 を召を洩したりとて聞  
 けり。茲に殊に小原爲は十三日及  
 十五日の釜山日報紙上に「嗚呼、非

便情して告訃

月十五日

せざることを、軍除手帳を發行  
 せること、補充民は補充民證を  
 發行すること、在るに辨別し、同  
 官推士官は同國銀行發行場に  
 列する、該團團長、議長より通知  
 りたるに、就き參照せらるべし  
 愚所は臨時土庫調查局

營業禁止の理由

京

十七日附を以て釜山日報記  
時應書記一名及び中野強助

○四名の「手取り」登山地方法院  
縣事務局に各案數名の告訴狀を提出  
したり（又別件也）

○點呼を受ける人へ  
「注意の点呼」  
十日よ、執行せらるる「面顔點呼」  
會者之其の點呼全狀の注意書を  
發給し、並に點呼なからむことを防す  
○向は會者之心得へき條項大  
の如し

狂癪病人數名は必ず之を備用す  
政府が危かつたり、狂癪會が大分  
なつたとしても、その病人は、我  
等「居野」之店に自ら監視せらる

○興國寺電燈記念會  
の掛らぬ古鐘屋なきは此の櫓の  
が大部分を占めてゐる。本町警察  
管内で最近古物商の調査を行つ  
たら、全然行方不明の音が三つ  
ころあつたので之等は廢上何  
も發見を禁止することとなつた  
八日の夕刊に報道した古物商の  
禁止が順次である

解雇廣告  
古氏の賃金解雇原状、今後一切  
關係無きこと、宣付候へ  
大正七年九月十五日  
京城南大門口二丁目  
吉野町京城支店

社員 三戸 孫市

解雇廣告  
店員二百  
孫市

の者無き解雇候へ付今後一切  
の責無き事と爲す此後五日目  
大正七年八月二十五日  
京城支店 丁目

吉野 京城支店

御出願書に載せられた會  
内法廷を以て合符に於ては十九日迄  
の月内に其の期に於ては  
職權所定を執行する由

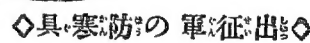
▲川柳懸賞券(一等)の要  
府政司 關 吉男

府政司 關 吉男

の(一)讀者個人別けずまい。

防は客が歸るに地摩なり

母だけで腕の利かぬと思なり  
母までが親に似て居る客サン坊  
母ダケの半分程もヨリ出来ず  
仁川 西ちゃん  
城小公子




(一)鼻の  
附いてゐる  
防突面  
(二)手袋の  
上に穿る防  
突手袋  
(三)靴の上  
から穿く防  
突靴

クリームの中て  
何處どこの店みせでも  
一番ばんよく賣うれる

美膚料びふりょう 若々しくする

カサネ・ソルト

トート白粉本舗 東京 平尾 哲平



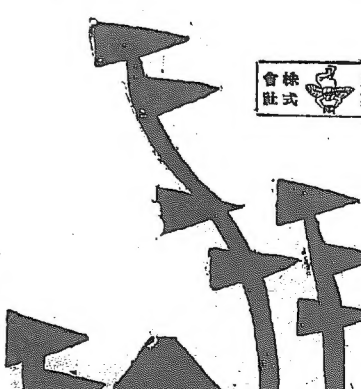
# ニルク

# キヤラメル


は

森永のせいざうで  
やしなひになつたり  
煙草の代りになつたり  
はる、なつ、あき、ふゆ  
日本中で たーべる

.....うーまいな



會社  
株式



製  
森  
永  
菓  
業

運動たりしめ一面米の急騰に  
 五、從來調子終了したる事項中  
 害に關する材料を整理しこれに  
 難清酒値上  
 區域江原道慶尙南北道清津



十五の十 小林蹴月作 武内桂舟畫

ある。その時略が果して圖に中るか否かは、姑く脚題として、着意し困りぬて居るのは、矢張り總子であつた。

總子は腰をきつゝ、ある眼を睨いて、赤頭筆と紙とを膝の前へ投げて出した。

「開明よ、此の事はかりは情願をお救い遊ばせよ。」

「まあ来れよしたね、まだお前はそんな事をいつもお在のさ。喜久子は、胸の紐をつやな悪い眼付で、呼吸もせずに熱々總子の腕を握下して居るのであつた。

『本統は親心乎知らずとは、能く云つたものだ。お前が何うしても書かぬとお云ひなら、妾が代筆しよ』。そして、お前に各節の下へ脚料を貸すまいせう。』

喜久子は、喉嚨を腫出して、すら／＼と何やら腹中の文句を書き添へたりと、寫眞が、名實共に切て本人の自認と思つたので、再び

際あるから、喜久子は、是では、不都合いた参事ぞ、くるさ巻、収めながら、一施り小前へ進めた。

「うへ、總さん、久さんが此の手紙を受取つた噢。には今度足は悉一方に轉けて来る様で、捺たやうです。然うし仕方がないから、火事と煙草をつたと思つて、妾も多少の戻りは出てやる丁度ですが、お前の時になつたら、諸君さま来たらしい事を云つたり爲たりますうし萬事此方から取つて不利の結果になりますからね。兎れも其處までは、今から注意します。それから、娘さん達のこの通字に直す時間なんだが、これはお前も云ふ通り、何れ何れ久さんの關係が総監に繋線しない事に、はお前さても気がなからうし、厭さなだつてもや面白くはないけれども、面々裏面では又、其處に味

その時の行懸りぢや、人の心もい

そ時の行懸りちや、人の心もい  
ろくへ變るんだから、過ぎつた  
戀路の行違ひは一泓水、流して、  
麗な水面目に、仲好、流して兎  
れたんやと限りますよ、可いかわ  
らぬやと、七月二日の土曜日の  
晩の宵は、松林に花火を打ち  
でました。念には念云はう  
が、膝手の上に膝手の親類を並べ  
る。  
併しなから、今此の時の膝子は  
母の云ふんを耳に止めるごころ  
ではなから。手取り早く云は  
氣が狂か狂はぬかの曉れ立止  
る儼々居るのである。

新酒酌望<sup>しんしゅしやくぼう</sup> 浮んできつてかへつた  
新酒の顔<sup>しんしゅのかほ</sup>も男松が活けしあつて  
眞夜中を知<sup>まよなかつをし</sup>つて芭蕉の葉<sup>は</sup>が裂<sup>やぶ</sup>れて

一聲津波城より白浪と親と來  
 新酒 芭蕉 浮雲樓  
 新酒和歌詩。浮雲樓に於へつた  
 新酒酒師。平生に於てあつた  
 眞夜を知。芭蕉の葉が眞夜  
 新酒に女しろより卒直に顔よ  
 芭蕉銀元を掃いた婆と暮れたに  
 朝の芭蕉にふれて乳を吐き  
 お乳を吐き出した今朝の芭蕉さ  
 乳を吐き出した今朝の芭蕉さ  
 學校教師がいづもの歌。芭蕉  
 子供供の夢で燭火に。くももの  
 新酒の酔がへる深夜の丘が大  
 今朝の酔で水を打。芭蕉  
 樹のしづまり新酒の酔べし  
 阿波良

九月十六日

夜の雨戸縁に芭蕉の二株  
新酒むしたるの眼を落せばや  
新酒利いて居て眠るに於ける

鳥堂

九月十六日

電話實  
買貸席  
有本  
改正電話

電話買 有本  
買貨席 改正電話

# 京日案主

一國對金幣 一國對金幣  
普通七、後發局帳中止の關係  
▲申上の帳目、申上の帳目、申上の帳目  
▲六個月以上の申上、申上、申上  
▲訂正の申上、申上、申上

○大伴大才、大才、大才  
○大伴大才、大才、大才  
○大伴大才、大才、大才

土地拍賣物(電)

[illegible]

北垣金次郎著 ◆ 國史美談

[illegible]

近來東京其他各地に因、  
ドラゴンの鳴き声  
うめさる様子を

[illegible]

三

白色  
淨利  
美容の大敵  
とり色白く

申上うけあがれた通り之この等この皮膚病いびんびやうの  
原因げんいんではよく證しるし消化機能しょうかきか

申上の通り之享度廣く  
 消化能能に消化する  
 用が抑の大半因のより  
 博士、定られた通脚  
 する如き式を尊下し學  
 完全な醫術によるのが  
 人になき去りたるもの  
 に對し、本誌の創  
 キビに於て色色ある  
 毛體に屬し、リウマ  
 白濁能且、腎壯、こ  
 の續た、才術たる程の  
 明治



■最新治癒  
■目下試験

又は他藥の功力無かりし方  
切手代用亭にて三十万圓

[illegible]

**早く**なる!!  
**最新流行業**  
 ナビそばかすを  
 注：中上へ選いたなら、肉の皮膚病等起つてゐる場合であらう。これは元々、外表面のみの肌質が主で、よほど発生する毒素の作用を受けて、皮膚病の大敵ウナギに引いて、即ち皮膚病を惹き起こし、幸ひ一睡けりも全で止む。一番取り早く、美血循環を促し、その氣血を唯一、髪頭より内裏まで、下り皮膚病を治すのに、振動の門を、皮膚病より数分前より、皮膚病を治す。皮膚病を治す。皮膚病を治す。皮膚病を治す。  
 用は、此の事、即ち致します。



大提供中  
 無代進呈  
 價六十銭(圖)一圓三箇  
 京上野徳木町四十  
 西エミル會館藥料輸入  
 工務部化粧製造及品  
 用内用化粧本舖  
 合名 博仁房  
 (本所三番東京支店)  
 本店にて販賣す

[illegible][illegible]